

福うなぎ 地産地消で東北農政局長賞を受賞

3月5日、農林水産省の地産地消等優良活動表彰で、東北農政局長賞を受賞された、ニューフロンティア株式会社の秋元真樹社長が市役所を訪れ、市長に受賞の報告を行いました。

ニューフロンティア株式会社は、滝根町でうなぎ（通称：福うなぎ）の養殖・販売を手掛け、地元産のうなぎを使用した「うなおむすび」や「うなぎ蒲焼き」を名物に育て上げ、地域活性化に貢献した功績が高く評価されました。



要望書 新型コロナワクチン接種、思いやりの心で対応を望む

3月9日、田村市聴力障害者会会長の渡邊喜好さん（写真中央）をはじめ4人が市役所を訪れ、新型コロナワクチン接種の際の合理的配慮に関する要望書を市長に手渡しました。

要望内容は、聞こえない・聞こえにくい人や盲ろう者が安心してワクチン接種を受けられるよう、説明や問診について、会場内へ筆談のできる環境や手話言語通訳者・要約筆記者の配置などを求めるものでした。

市では、要望内容に配慮して予防接種の準備を進めます。

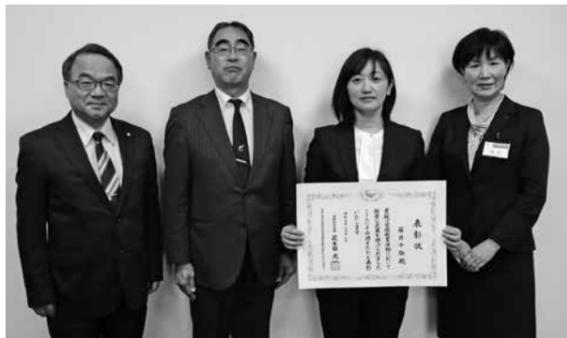


賞状伝達 滝根小・藤井教諭が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

3月17日、市役所で令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞された滝根小学校の藤井千絵教諭へ、福島県教育庁県中教育事務所 石幡良子所長から賞状が伝達されました。

藤井教諭は、「今まで頑張ってきたことを認めてもらえたことがうれしい。これからも精進していきたい」と述べました。

これまでのご活躍に心より敬意を表します。



▲左から、教育長、佐久間敏晴校長、藤井千絵教諭、石幡良子所長

「たむら市政だより」の記事がネット検索でヒットします！

たむら市政だよりの情報をもっと簡単に知ってもらえるよう、「マイ広報紙」で配信しています。

マイ広報紙では、パソコンやスマートフォンから市政だよりの文章のみを読むことができます（PDF版を選択することで画像付きを読むこともできます）。

また、知りたい情報をキーワード検索することで、必要な情報をすぐに知ることができます。ぜひご利用ください。



▲「マイ広報紙」はこちら

オンライン研修 外国人へおもてなしの気持ちを伝えるために

2月21日、観光庁事業「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化」研修がオンラインで開催されました。英語の初級・中級クラスと中国語クラスを合わせて46人が受講しました。

豊富なテキストと関東圏で全国通訳案内士として活躍している講師の方々による指導で、受講者の方からも「非常に役に立った。特に翻訳ツールのボイストラ*やコミュニケーションシートが今後使えそう」などの声が聞かれました。
*ボイストラ…話しかけると外国語に翻訳してくれるスマートフォン用音声翻訳アプリ。



はばたくときわ 常葉小・中学生の思い、ときわ木の葉にのせて

2月22日、田村市青少年健全育成市民会議常葉支部の事業で文化の館ときわの敷地内に、ときわ木の葉をモチーフとした看板が設置されました。

この看板は常葉小・中学生と同校の先生方が将来の夢や今頑張っていることなどの思いを葉に書き、看板に貼り作成しました。看板は、文化の館ときわ出入口にありますので、ぜひご覧ください。

「ときわ木」とは、常緑樹の呼称で年中、葉が緑色の木のことをいいます。



大抽選会 都路町商工会、地域活性化への取り組み

「ふるさとたむら応援券」を使った大抽選会が都路町で行われました。これは「ふるさとたむら応援券」を都路町で使ってもらおうと都路町商工会が企画したものです。町内の商店で応援券1,000円を使用すると、1口応募でき、市内から沢山の応募がありました。

当選者には町内でお買い物ができる商品券や飲食店のお食事券が贈られました。

新型コロナウイルスの影響で冷え込んだ事業者への支援と消費拡大・回復につながりました。



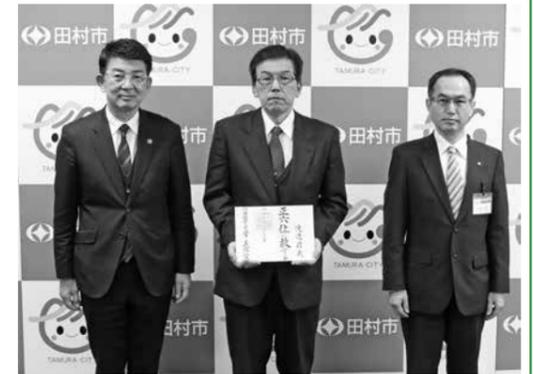
▲左から、当選者の坪井英子さん、高橋光一さんと猪瀬 明都路町商工会長

叙位 故・渡邊國義さんが受章

常葉町の故・渡邊國義さんが地方自治功労叙位「正六位」を受章されました。

伝達式は3月3日に市役所で行われ、渡邊さんの長男 義輝さんへ、県中地方振興局の小柴局長から勲記が手渡され、市長が立ち会いました。

渡邊さんは、昭和55年2月に常葉町議会議員に初当選以来、5期19年の長きにわたり活躍され、住民からの町長就任の声が高まり、平成11年に常葉町長に初当選しました。以来、2期6年にわたり町長を務め、地方自治の振興と発展に貢献した功績が認められました。



▲左から、市長、渡邊義輝さん、小柴局長